



Kofax TotalAgility テーブル

バージョン: 8.0.0

日付: 2024-03-13

TUNGSTEN
AUTOMATION
FORMERLY KOFAX

© 2024 Tungsten Automation. All rights reserved.

Tungsten and Tungsten Automation are trademarks of Tungsten Automation Corporation, registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Tungsten Automation.

目次

序文.....	4
TotalAgility ドキュメント.....	4
トレーニング.....	4
Kofax 製品のヘルプの入手.....	4
第 1 章：テーブル.....	6
テーブル CATEGORY.....	6
テーブル AW_RESOURCE.....	7
テーブル AW_LOGGEDON_USER.....	9
テーブル AUDIT_LOG.....	10
テーブル BUSINESS_PROCESS.....	11
テーブル LIVE_ACTIVITY.....	15
テーブル LIVE_ACTIVITY_RESOURCE.....	19
テーブル JOB.....	20
テーブル JOB_HISTORY.....	24
テーブル JOB_MILESTONES.....	25
テーブル JOB_STATE_HISTORY.....	26
テーブル FINISHED_JOB.....	26
テーブル FINISHED_JOB_HISTORY.....	30
テーブル FINISHED_JOB_MILESTONES.....	32
テーブル FINISHED_JOB_STATE_HISTORY.....	32
テーブル FINISHED_JOB_META_DATA.....	33
テーブル Work_QUEUE_DEFINITION.....	36
テーブル Work_QUEUE_DEFINITION_FIELD.....	37
テーブル LIVE_Work_QUEUE_DEFINITION.....	37
第 2 章：データベース スキーマ図.....	42

序文

このドキュメントでは、Kofax Analytics for TotalAgility で使用される Kofax TotalAgility テーブルとフィールドについて説明します。

データベースのすべての日時の値は、アプリケーション サーバーのタイムゾーンに基づいています。

TotalAgility データベースには外部キーの制約はありません。

TotalAgility ドキュメント

[Kofax TotalAgility ドキュメント ページ](#)から、オンラインで完全なドキュメント セットにアクセスします。

また、Kofax フルフィルメント サイトから言語ごとに TotalAgility ドキュメントを個別にダウンロードすることで、オフライン モードで TotalAgility ドキュメントにアクセスすることもできます。

完全なドキュメント セットと、オフライン モードでドキュメントにアクセスする方法については、「Kofax TotalAgility 8.0.0 リリース ノート」を参照してください。

トレーニング

Kofax は、製品を最大限に活用するために役立つクラスルーム トレーニングおよびオンライン トレーニングを提供しています。トレーニング コースとスケジュールの詳細については、Kofax の Web サイトにある [Kofax Education Portal](#) (Kofax エデュケーション ポータル) にアクセスしてください。

Kofax 製品のヘルプの入手

[\[Kofax Knowledge Portal \(Kofax ナレッジ ポータル\)\]](#) リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Portal で情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Portal] にアクセスするには、<https://knowledge.kofax.com> にアクセスしてください。

 [Kofax Knowledge Portal] は Google Chrome、Mozilla Firefox、または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Portal] は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。
[Search (検索)] ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。
記事を見つけるには、Knowledge Portal のホームページにアクセスし、製品に該当するソリューション ファミリーを選択するか、[View All Products (すべての製品を表示)] ボタンをクリックします。

Knowledge Portal のホームページからは、次の操作を実行できます。

- Kofax Community (Kofax コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。
[Resources (リソース)] メニューで、**[Community (コミュニティ)]** リンクをクリックします。
- Kofax Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。
[\[Support Portal Information \(サポート ポータルの情報\)\]](#) ページに移動し、**[Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)]** をクリックします。
- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。
[\[Support Portal Information\]](#) ページに移動し、**[Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)]** をクリックします。
- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフ サービス ツールへのアクセス。
[\[Support Details \(サポートの詳細\)\]](#) ページに移動し、適切な記事を選択します。

第1章

テーブル

この章では、次のテーブルについて説明します。

- CATEGORY
- AW_RESOURCE
- BUSINESS_PROCESS
- LIVE_ACTIVITY
- LIVE_ACTIVITY_RESOURCE
- JOB
- JOB_HISTORY
- JOB_MILESTONES
- JOB_STATE_HISTORY
- FINISHED_JOB
- FINISHED_JOB_HISTORY
- FINISHED_JOB_MILESTONES
- FINISHED_JOB_STATE_HISTORY

i テーブルで BIT 列が使用されてる場合、SQL Server はこのような列を 8 個まで 1 バイトにバンドルできます。例:

- 7 BIT 列を含むテーブルは 1 バイトを消費します。
- 8 BIT 列を含むテーブルは 1 バイトを消費します。
- 9 BIT 列を含むテーブルは 2 バイトを消費します。

! このガイドからコードをコピーして貼り付ける場合、改行がある場合は必ず調整してください。

テーブル CATEGORY

このテーブルには、TotalAgility 内で定義されたすべてのカテゴリが含まれています。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
➡	CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	カテゴリの一意的識別子。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
NAME	NChar(64)	100	カテゴリ名。
DESCRIPTION	NChar(200)	120	カテゴリの説明
PARENT_CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	親カテゴリ。このカテゴリに親がない場合は null。
LAST_MODIFIED_RESOURCE	バイナリ (16)	16	このカテゴリを最後に変更したリソースのリソース ID。
LAST_MODIFIED_DATE	日時	2	このカテゴリが最後に変更された日時。

テーブル AW_RESOURCE

このテーブルには、TotalAgility 内で定義されたユーザーおよびグループが含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
RESOURCE_ID	バイナリ (16)	16	リソースの一意の識別子。
CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	リソースが属するカテゴリの一意の識別子。
CHARGE_FIXED_RATE	小数	14	このリソースの固定料金コスト。
LAST_MODIFIED_DATE	日時	8	このリソースが最後に更新された時刻。
LAST_MODIFIED_RESOURCE_ID	バイナリ	16	このリソースを最後に変更したユーザーのリソース ID。
MANAGERIAL_LEVEL	Smallint	2	このリソースの管理レベル。この値の範囲は 1 ~ 99 で、1 が最高レベルです。値 99 は、リソースがスーパーバイザーではないことを示します。
RESOURCE_NAME	NChar(40)	80	リソースの名前。
RESOURCE_TYPE	Smallint	2	リソースタイプ。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 内部ユーザー = 0 • 外部ユーザー = 32 • グループ = 3 • ロール = 6 • 変動ロール = 8
SECURITY_LEVEL	Smallint	2	リソースのセキュリティレベル。この値の範囲は 1 ~ 10 で、1 が最高レベルです。
SERVER_ID	バイナリ	16	内部使用のみ。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
SKILL_LEVEL_MAX	Smallint	2	リソースの最大スキル レベル。この値の範囲は 1 ～ 10 で、1 が最高レベルです。
SKILL_LEVEL_MIN	Smallint	2	リソースの最小スキル レベル。この値の範囲は 1 ～ 10 で、1 が最高レベルです。
UNIT_CHARGE_RATE	小数	14	ユニット タイプごとのこのリソースの使用料。
UNIT_DURATION_IN_SECONDS	Int	4	原価計算期間 (秒)。
UNIT_TYPE	Smallint	2	期間のタイプ。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 日 = 0 • 時間 = 1 • 分 = 2 • 秒 = 3
EMAIL_ADDRESS	NChar	640	指定されたリソースの電子メール アドレス。
END_DATE	日時	8	リソースが利用不可または無効になる日付。
PASSWORD	NVarchar	2 GB	内部使用向け。
START_DATE	日時	8	リソースが利用可能または有効になる日付。
SUPERVISOR_ID	バイナリ	16	リソースのスーパーバイザーの ID。
WORKALLOCATIONRULE_ID	バイナリ	16	タスクをリソースに割り当てるために使用される作業割り当てルール。
WORKING_CATEGORY_ID	バイナリ	16	リソースが属する作業カテゴリ。
WORKING_GROUP_ID	バイナリ	16	リソースが作業に最も時間を費やすグループ。
SECURITY_KEY	バイナリ	16	内部使用向け。キャプチャ クライアントによって使用されます。
PERSONA_ID	バイナリ	16	リソースに関連付けられたペルソナを示します。ペルソナを使用すると、ターゲット オーディエンスを個人のグループに分けて、さまざまな関心やニーズに応えることができます。各ペルソナには、ターゲットのランディング ページとコンテンツが含まれます。
JOBLIST_QUERY_ID	バイナリ	16	ジョブ リスト クエリの ID (リソースに定義されている場合)。
WORKQUEUE_QUERY_ID	バイナリ	16	作業キュー クエリの ID (リソースに定義されている場合)。
PHONE_NUMBER	NVarchar	60	リソースの電話番号。
IS_LOCKED_OUT	Bit		リソース アカウントが現在ロック アウトされているかどうかを示します。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
LOCKED_OUT_DATETIME	日時	8	アカウントがロックアウトされた日時。
CHANGE_PASSWORD_ON_NEXT_LOGON	Bit		次回ログオンするときにリソースがパスワードを変更する必要があるかどうかを示します。
FAILED_LOGON_ATTEMPTS	Smallint	2	パスワードの入力に失敗した回数。
PASSCODE	NVarchar	80	リソースがパスコード認証を使用するように構成されている場合、リソースのパスコード。
PASSCODE_SENT_DATETIME	日時	8	パスコードが送信された日時。
PASSCODE_VERIFIED_DATETIME	日時	8	パスコードが検証された日時。

テーブル AW_LOGGEDON_USER

このテーブルには、同時ユーザー数のレポートが含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明										
SESSION_ID	バイナリ	16	ログオンユーザーの現在のセッション ID。										
LOGON_PROTOCOL	Smallint	2	ユーザーのログオン プロトコル。 <table border="1" data-bbox="878 1220 1461 1457"> <thead> <tr> <th>列挙</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>Ide</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>TransformationIde</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>デバイス</td> </tr> </tbody> </table>	列挙	説明	5	Ide	7	インターネット	8	TransformationIde	10	デバイス
列挙	説明												
5	Ide												
7	インターネット												
8	TransformationIde												
10	デバイス												
RESOURCE_ID	バイナリ	16	リソースの一意の識別子。										
LOGGED_ON_TIME	日時	8	ユーザーのログオン時間。										
LAST_ACCESSED_TIME	日時	8	ユーザーがシステムに最後にアクセスした時刻。										
AUTH_PROVIDER_ID	バイナリ	16	認証プロバイダの一意の識別子。フェデレーションセキュリティを使用する場合にのみ関連しています。										

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明	
STATE	Smallint	2	ログオン状態の情報。	
			列挙	説明
			0	LoggedOn
			1	AwaitingSecurityAnswersForForgottenPassword
			2	AwaitingChangePassword
			3	AwaitingChangeForgottenPassword
			4	AwaitingSecurityAnswersDefinition
			5	AwaitingSecurityAnswers
			6	AwaitingPasscode
7	LockedOut			
RESET_TOKEN	Nvarchar	2	ユーザーのパスワード リセット トークン。	

テーブル AUDIT_LOG

このテーブルには、各ユーザーの終日のログオン詳細レポートが含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
 AUDIT_ID	bigint		監査エントリの ID。
AUDIT_TIME	日時	8	監査エントリの時刻。
AUDIT_TYPE	Int		監査エントリのタイプ。使用可能な監査タイプは、AUDIT_TYPE テーブルに保存されます。
RESOURCE_ID	バイナリ	16	監査エントリを記録したリソースの一意的識別子。
SERVER_ID	バイナリ	16	内部使用のみ。
AUDIT_ENTRY_DESCRIPTION	バイナリ		監査エントリの説明。
RESOURCE_NAME	Nvarchar	256	監査エントリを記録したリソースの名前。
TARGET_PROCESS_ID	バイナリ	16	監査エントリが関連付けられているターゲット プロセス。特定の監査タイプにのみ関連しています。
TARGET_RESOURCE_ID	バイナリ	16	監査エントリが関連付けられているターゲット リソース。特定の監査タイプにのみ関連しています。
SOURCE_IP	Nvarchar	50	ソース/呼び出し元サーバーの IP アドレス。

テーブル BUSINESS_PROCESS

このテーブルには、TotalAgility で定義されたすべてのビジネス プロセスに関する情報が含まれています。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
☛	PROCESS_ID	バイナリ (16)	16	プロセスの一意の識別子。
☛	VERSION	小数	8	プロセスのバージョンを示します。
	ALLOCATION_ALGORITHM	Smallint	2	リソースに作業を割り当てるためのアルゴリズム オプション。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 初回検出 = 0 • コスト = 1 • スキル = 2 • 速度 = 3
	ARCHIVE_FINISHED_JOBS	Bit		完了後にジョブを終了済みデータベースに移動する必要があるかどうかを示します。
	ARCHIVE_TO_PI	Bit		レポート作成のためにジョブを使用する必要があるかどうかを示します。
	CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	このプロセスが属するカテゴリ。
	CHANGE_DATE	日時	8	プロセス マップが最後に変更された日時。
	CREATION_DATE	日時	8	プロセス マップが作成された日時。
	CREATOR	バイナリ	16	プロセス マップを作成したリソースの ID。
	EMAIL_TO	Bit		プロセスのアクティビティ通知を構成するときに、電子メールをグループ アドレス (0) またはグループ メンバー アドレス (1) に送信するかどうかを示します。
	EXPECTED_COST	小数	18	このプロセス用に作成されたジョブを完了するための想定コスト。
	HAS_BUDGET_ESCALATIONS	Bit		予算トリガーが構成されているかどうかを示します。
	HAS_DURATION_ESCALATIONS	Bit		期間トリガーが構成されているかどうかを示します。
	HAS_FLOATING_ROLES	Bit		プロセス マップに変動ロールが構成されているかどうかを示します。
	HAS_MILESTONE_ESCALATIONS	Bit		通過ポイントトリガーが構成されているかどうかを示します。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
HAS_MILESTONES	Bit		このプロセス マップに通過ポイントが構成されているかどうかを示します。
LAST_MODIFY_RESOURCE	バイナリ	16	プロセス マップを最後に変更したリソースの ID。
LATEST_VERSION	Bit		プロセス バージョンが最新かどうかを示します。
PREFIX_VARIABLE_NAME	Bit		変数 ID がプレフィックス (小文字) を使用しているかどうかを示します。
PRIORITY	Smallint	2	ビジネス プロセスの優先度 (1 が最高、10 が最低)。
PROCESS_NAME	NVarchar	80	プロセス名。
PROCESS_TYPE	Smallint		プロセスのタイプ。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • ビジネス プロセス = 0 • ケース定義 = 1 • ケース フラグメント = 2 • ビジネス ルール = 5
SEND_EMAIL	Bit		アクティビティが保留中になるたびに使用可能なリソースに電子メール通知を送信するかどうかを示します。
SERVER_ID	バイナリ	16	内部目的のため。プロセス マップがインストールされているサーバーの ID。
SLA_STATUS2_THRES_IN_SECS	Int	4	プロセス SLA の 2 番目のしきい値に到達する秒数。
SLA_STATUS3_THRES_IN_SECS	Int	4	プロセス SLA の 3 番目のしきい値に到達する秒数。
SLA_STATUS4_THRES_IN_SECS	Int	4	プロセス SLA の 4 番目のしきい値に到達する秒数。
SLA_STATUS5_THRES_IN_SECS	Int	4	プロセス SLA の 5 番目のしきい値に到達する秒数。
STATUS	Smallint	2	プロセス マップの現在の状態。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 保存済み = 0 • 削除済み = 1 • リリース済み = 2 • 待機中 = 3 • 新規 = 4
STORE_VARIABLE_HISTORY	Bit		すべての変更がプロセス変数に対するものであるかどうかを示します。
STRAIGHT_THROUGH	Bit		マップがストレート スルー (同期) かどうかを示します。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
SUPPORTS_SKINNING	Bit		このプロセスをスキン テンプレートとして使用できることを示します。
TARGET_DURATION_IN_SECONDS	Int	4	プロセスの目標期間 (秒)。
TRANSACTIONAL	Bit		現在使用されていません。
USE_ASSOC_FILE	Bit		アクティビティ通知を送信するときに、構成済みの関連ファイルを追加する必要があるかどうかを示します。
HAS_DOCUMENT_CONTAINER	Bit		プロセスにドキュメント コンテナがあるかどうかを示します。たとえば、ドキュメント タイプとドキュメントの数を定義します。
CAPTURE_ENABLED	Bit		プロセスがキャプチャ対応であり、スキャンから初期化するかどうかを示します。
POOLID	Smallint	2	プロセスに関連付けられたスレッド プールの ID。
ACTION_WHEN_CASE_COMPLETES	Smallint	2	ケースが完了したときに関連ジョブで実行するアクション。 <ul style="list-style-type: none"> • ジョブを残す = 0 • ジョブを強制終了する = 1
ASSOCIATED_CASE_PROCESS_ID	バイナリ	2	このプロセスに関連付けられているケースの ID。
BUDGET	小数	18	このビジネス プロセスに作成されたジョブの実行に割り当てられた予算。
COMPLETION_EVENT_MAP_ID	バイナリ	16	ケースが完了したときに実行されるプロセスの ID。
DEFINITION_ID	バイナリ	16	このプロセスに関連付けられた作業タイプの ID (該当する場合)。
DESCRIPTION	NVarchar	4000	プロセスのテキスト形式の説明。
DESIGN_TIME_SETTINGS	XML	2 GB	注釈、添付、プール、レイアウト タイプ、拡大/縮小率など、プロセスからのさまざまなデータが含まれます。
DYNAMIC_BUDGET	NVarchar	200	プロセスの予算は、静的な値にするか、変数から動的に取得することができます。このパラメータは、プロセスの予算を含む変数を識別します。
EMAIL_CONTENT_TEXT	NVarchar	2 GB	アクティビティが保留中になったときにアクティビティ通知として送信される電子メールのコンテンツ部分。
EMAIL_CONTENT_VAR_ID	NVarchar	200	電子メールのコンテンツ部分の変数 ID。
EMAIL_SUBJECT_TEXT	NVarchar	2 GB	アクティビティが保留中になったときにアクティビティ通知として送信される電子メールの件名。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
EMAIL_SUBJECT_VAR_ID	NVarchar	200	電子メールの件名の変数 ID。
EMAIL_URL_TEXT	NVarchar	2 GB	アクティビティが保留中または利用可能になったときにアクティビティ通知として送信される電子メールの URL。
EMAIL_URL_VAR_ID	NVarchar	200	電子メールの URL の変数 ID。
FINISH_TIME_VARID	NVarchar	200	プロセスまたはシステム変数でプロセスの想定期間を保持する変数 (プロセスのプロパティの [全般] タブの通過ポイントまたは時間設定を使用しない場合)。
FOLDER_STRUCTURE	XML	2 GB	プロセスのプロパティの [詳細設定] タブで、プロセスの仮想フォルダとインデックス データ フィールドの詳細を表示します。
FORM	NVarchar	2 GB	冗長。
FORM_SECTIONS	XML	2 GB	冗長。
HELP_TEXT	NVarchar	510	プロセスのヘルプ テキストが含まれます。
LOCKED_BY	バイナリ	16	プロセスをロックし、更新を禁止したリソースのリソース ID。
MILESTONE	NChar	80	プロセスが通過ポイントを使用している場合、プロセスの想定期間を示す通過ポイント。
MILESTONE_SCOPE	Bit		<p>前の MILESTONE 列の範囲。</p> <ul style="list-style-type: none"> 範囲 0: 通過ポイントは、プロセスまたはケース フラグメントにのみ適用されます。 範囲 1: 通過ポイントは、ケースの定義とそのケース フラグメントに適用されます。
PROCESS_OWNER_ID	バイナリ	16	このプロセスを所有するリソースのリソース ID。
SCORE_RULE	XML	2 GB	結果の可能性を予測するプロセスで、変数、演算子、重みの使用などの予測可能モデルが定義されている場合は、このモデルが含まれます。
VALID_FROM	日時	8	このプロセスが使用される予定の開始日。
VALID_TO	日時	8	このプロセスが使用される予定の終了日。
SETTINGS_XML	XML	2 GB	内部使用向け。プロセス キャプチャおよび保持ポリシーの設定が含まれます。
CNJ_FORM_NAME	NVarchar	200	内部使用向け。新しいジョブの作成 (CNJ) フォームがプロセスに関連付けられている場合、プロセスに使用される CNJ フォームの名前が含まれます。
CNJ_FORM_ID		16	内部使用向け。新規ジョブ作成フォームがプロセスに関連付けられている場合、プロセスに使用される CNJ フォームの ID が含まれます。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
IS_CAPTURE_PROCESS	Bit		Kofax Analytics for TotalAgility レポート内のデータを使用して返されるデータをフィルター処理できるように、プロセスをキャプチャ プロセスと見なすことができるかどうかを示します。
REPORTING_TAG_ID	バイナリ	16	プロセスに関連付けられたレポート タグの ID。プロセスに関連付けられたレポート タグにより、Kofax Analytics for TotalAgility はレポートにカスタム フィルターを適用できるようになります。

テーブル LIVE_ACTIVITY

このテーブルには、TotalAgility 内で実行されるアクティビティ (手動および自動) が含まれます。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✎ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
✎ EMBEDDED_PROCESS_COUNT	Smallint	2	アクティビティが存在するプロセス レベル。値 0 は、プロセスが親プロセスであることを示します。
✎ NODE_ID	Smallint	2	プロセス内のアクティビティの ID。
✎ SUB_NODE_ID	Smallint	2	アクティビティへの同時アクセスを制御するために使用されます。
ACTIVITY_STATUS	Smallint	2	可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 保留中 = 0 • 取得済み = 1 • 一時停止 = 3 • ロック済み = 4 • ホールド = 7 • イベント待ち = 8 • 割り当て待ち = 9 • 保存済み = 10
ASSOCIATED_FILE	NVarchar	510	これは通常、アクティビティに基づいてアクティビティの取得フォームまたはマルチビュー アクティビティ フォームを生成し、フォーム名がこの列に保存される場合に使用されます。
AUTOMATIC	Bit	1	このアクティビティが自動実行されるかどうかを示します。

名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
DATA_PROCESS_ID	バイナリ	16	プロセス ID が含まれます。アクティビティがサブジョブのものである場合、この値にはサブジョブのプロセス ID が保持され、親ジョブの ID は保持されません。
DELEGATED	Bit		指定された期間、あるリソースから別のリソースにアクティビティが委任されたかどうかを示します。アクティビティは再割り当てされず、両方のリソースの作業キューに表示されます。
DESIGN_TIME_TYPE	Int	4	<p>設計時のアクティビティのタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャプチャ アクティビティ タイプとそれに対応する値: 抽出 = 131085、分類 = 131086、PDF 生成 = 131088、スキャン = 131089、検証 = 131090、確認 = 131091、ドキュメントレビュー = 131092、イメージ処理 = 131093、複合 = 131094 • コア Kofax TotalAgility アクティビティ タイプとそれに対応する値: 手動 = 1、VB スクリプト = 32、新しいジョブの作成 = 128、.NET = 4096、Web サービス = 8192、XML = 131072、C# = 131074、VB.NET = 131076、データ アクセス = 131077、同期 = 131079、スリープ = 131080、ジョブ所有者 = 131081、ジョブの変数 = 131082、リソース情報 = 131084 • Kofax TotalAgility カスタム ノードとそれに対応する値: ループ アクティビティ = 32、式アクティビティ = 33、SharePoint サイトの作成 = 34、SharePoint フォルダの作成 = 35、SharePoint アイテムの追加 = 36、SharePoint アップローダ = 38、SharePoint アイテムの移動 = 39、SharePoint ドキュメントの取得 = 40、ビジネス ルール = 101、電子メール アクティビティ = 102、RESTful Web サービス = 104、ドキュメント生成 = 105、Dynamics CRM = 106、レビュー準備完了 = 107、CMIS ドキュメントの取得 = 110、Content Manager フォルダの作成 = 111、Content Manager ドキュメントの追加 = 112、CMIS ドキュメントの追加 = 113、CMIS ドキュメントの更新 = 114、Content Manager ドキュメントの取得 = 115、CMIS フォルダの作成 = 116、CMIS ドキュメントのチェックイン = 117、CMIS ドキュメントのチェックアウトのキャンセル = 118、CMIS ドキュメントの検索 = 119、Exchange Server 添付ファイル取得 = 120、Capture 削除 = 121、Capture エクスポート = 122、Dynamics AX = 123、Dynamics AX 検索 = 124、RPA = 125、転送アクティビティ = 126、ドキュメントの状態 = 127、受信済みドキュメント = 128、ドキュメントの承諾 = 129、ドキュメント タイプの追加 = 130、SignDoc = 131

名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
DUE_DATE	日時	8	アクティビティの期限になる日時。
EXPECTED_COST	小数	18	アクティビティの想定コスト。
EXPECTED_DURATION_IN_SECS	Int	4	アクティビティの想定期間(秒)。
FIXED_COST	小数	18	期間に関係なく、アクティビティの固定コストを示します。
HELP_TEXT	NVarchar	510	アクティビティに対して定義されたヘルプテキストが含まれています。
LIBRARY	Bit		冗長。
MACHINE_ID	Smallint	2	LIVE_ACTIVITY テーブルに最初に追加されたアクティビティが存在するマシンの ID。対応するマシン名は MACHINE_NAMES テーブルに保存されます。
MONITORING_DUE_DATE	日時	8	アクティビティが期限超過であるかどうかを確認する次の日時が含まれます。
NODE_NAME	NChar	80	アクティビティ名。
OFFERED_RESOURCE_ID	バイナリ	16	冗長。
OFFERED_TIME	日時	8	冗長。
POOLID	Smallint	2	アクティビティが実行される Kofax TotalAgility スレッドプールを指定します。
PRIORITY	Smallint	2	アクティビティの優先度。範囲は 1 ~ 10 で、1 が最高の優先度です。
PROCESS_ID	バイナリ(16)	16	このアクティビティが属するプロセスの一意の識別子です。このアクティビティの作成に使用されます。
PROCESS_NAME	NChar	80	アクティビティを含むプロセスの名前。
PERFORMING_RESOURCE_ID	バイナリ	16	アクティビティを実行するためにアクティビティを取得したリソースの ID。
PENDING_TIME	日時	8	アクティビティが保留中になった日時。
PREVIOUS_STATUS	Smallint	2	アクティビティの以前のステータスを示します。可能な値については、ACTIVITY_STATUS を参照してください。
SAVED_ACTIVITY	XML	2 GB	複数のユーザーに同時に割り当てられた保存済みアクティビティのデータが含まれます。1人のユーザーが保存した変更が、別のユーザーのアクティビティに影響してはなりません。
SECURITY	Smallint	2	このアクティビティの作業を行うリソースのセキュリティレベルを示します。範囲は 1 ~ 10 で、1 が最高のスキルレベルです。

名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
SKILL	Smallint	2	このアクティビティの作業を行うリソースに必要なスキルレベルを示します。範囲は 1 ~ 10 で、1 が最高のスキルレベルです。
SLA_STATUS2_DATE	日時	8	SLA (緑/オレンジ/赤/黒/紫) ステータスを決定します。 現在日時が SLA_STATUS2_DATE よりも小さい場合、RAG ステータスは緑になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトカラーの緑が上書きされているかどうかを確認します。
SLA_STATUS3_DATE	日時	8	現在日時が SLA_STATUS3_DATE よりも小さく、SLA_STATUS2_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスはオレンジになります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトカラーのオレンジが上書きされているかどうかを確認します。 現在の日時が SLA_STATUS3_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスは赤になります。
SLA_STATUS4_DATE	日時	8	現在日時が SLA_STATUS4_DATE より小さく、SLA_STATUS3_DATE より大きい場合、RAG ステータスは赤になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトカラーの赤が上書きされているかどうかを確認します。
SLA_STATUS5_DATE	日時	8	現在日時が SLA_STATUS5_DATE より小さく、SLA_STATUS4_DATE より大きい場合、RAG ステータスは黒になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトカラーの黒が上書きされているかどうかを確認します。
SPP_ID	バイナリ	16	内部使用向け。
TAKEN_TIME	日時	8	アクティビティが取得された時刻。

名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
TYPE	Int	4	アクティビティのランタイムのタイプを示します。 キャプチャ アクティビティ タイプとそれに対応する値: 抽出 = 131085、分類 = 131086、PDF 生成 = 131088、スキャン = 131089、検証 = 131090、確認 = 131091、ドキュメント レビュー = 131092、イメージ処理 = 131093、複合 = 131094 コア Kofax TotalAgility アクティビティとそれに対応するタイプ: 手動 = 1、VB スクリプト = 32、新しいジョブの作成 = 128、.NET = 4096、Web サービス = 8192、XML = 131072、C# = 131074、VB.NET = 131076、データ アクセス = 131077、同期 = 131079、スリープ = 131080、ジョブ所有者 = 131081、ジョブの変数 = 131082、リソース情報 = 131084、SignDoc 手動アクティビティ = 131095 カスタム ノードとして実装される Kofax TotalAgility アクティビティのタイプは 4096 です。
UNIQUE_ID	バイナリ	16	このアクティビティに対して生成された一意の GUID。
USE_ADV_WORKFLOW_RULES	Smallint	2	アクティビティの実行に、同時アクティビティ割り当てなどの詳細なワークフロー ルールを使用するかどうかを示します。
VERSION	小数	8	プロセスのバージョンを示します。

テーブル LIVE_ACTIVITY_RESOURCE

このテーブルには、アクティビティの実行が可能な対応するリソースが含まれています (JOB_ID、EMBEDDED_PROCESS_COUNT、NODE_ID、SUB_NODE_ID を使用して識別済み)。

名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
☛ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
☛ EMBEDDED_PROCESS_COUNT	Smallint	2	アクティビティが存在するプロセス レベル。このパラメータの値が 0 の場合、プロセスは親プロセスです。
☛ NODE_ID	Smallint	2	プロセス内のアクティビティの ID。
☛ RESOURCE_ID	バイナリ (16)	16	リソースの一意的識別子。
☛ SUB_NODE_ID	Smallint	2	アクティビティへの同時アクセスを制御します。
☛ STATUS	Smallint	2	リソースがアクティビティの実行から除外されるかどうかを示します。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	SERVER_ID	バイナリ	16	内部使用向け。
✦	ASSIGNED_RESOURCE_ID	バイナリ (16)	16	特にユーザーが変動ロールに割り当てられている場合、ユーザーの作業を取得するのに役立ちます。

テーブルJOB

このテーブルには、システム内のライブ ジョブのリストが含まれています。また、アーカイブが有効になっていない場合は、終了済みジョブも一覧表示されます。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✦	JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意の識別子。
	ARCHIVE_FINISHED_JOB	Bit		完了時にジョブを JOB データベース テーブルから FINISHED_JOB データベース テーブルに移動する必要があるかどうかを示します。
	ASSESSED_FOR_CHECKING	Bit		このジョブがチェック用に評価されたかどうかを示します。品質管理に使用されます。
	ASSESSED_FOR_SAMPLING	Bit		このジョブがサンプリング用に評価されたかどうかを示します。品質管理に使用されます。
	ASSOCIATED_CASE_ID	バイナリ (16)	16	ケース フラグメントの場合、このパラメータは、ケース フラグメントが属するケースのジョブ ID です。通常のジョブの場合、この値は独自のジョブ ID です。 TYPE 列の説明を参照してください。
	CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	このジョブの作成に使用されたプロセスが属するカテゴリ。
	COST_OVERRUN	Bit		このフラグは、モニターがこのジョブにコスト超過のマークを付けたかどうかを示します。
	CREATION_TIME	日時	8	ジョブが作成された日時。
	CREATOR	バイナリ (16)	16	ジョブを作成したユーザーのリソース ID。リソースの詳細については、「 テーブル AW_RESOURCE 」を参照してください。
	DURATION_OVERRUN	Bit		モニターがこのジョブに期間超過のマークを付けたかどうかを示します。
	EMBEDDED_PROCESS_COUNT	Smallint	2	このプロセスの埋め込みレベルを示します。
	EXPECTED_COST	小数	18	このジョブの想定コスト。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
EXPECTED_DURATION_IN_SECS	Int	4	このジョブの想定期間 (秒)。
EXPECTED_FINISH_TIME	日時	8	ジョブの終了予定時間。
FINISH_TIME	日時	8	ジョブが強制終了または完了した時刻。
JOB_STATUS	Smallint	2	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブ = 0 • 完了済み = 1 • 強制終了済み = 2 • 一時停止 = 3 • 保留の完了 = 4 • ロック済み = 5 • 評価準備完了 = 6 • ホールド = 7 • 完了待ち = 8 • ケースの完了待ち = 9 • 完了待ちが強制終了されました = 10 • 待機中のケース 強制終了完了 = 11
LAST_MODIFIED_DATE	日時	8	ジョブの詳細が最後に変更された日付。
MACHINE_ID	Smallint	2	現在使用されていません。
ORIGIN_SERVER_ID	バイナリ	16	ジョブの発信元または作成元のサーバーの ID。
PRIORITY	Smallint	2	ジョブの優先度。
PROCESS_ID	バイナリ	16	このジョブの作成に使用されるビジネス プロセスの一意的識別子。
PROCESS_NAME	NVarchar	80	このジョブの作成に使用されたプロセスの名前、または作成されたスキンの名前。
ROOT_JOB_ID	バイナリ	16	ルートジョブ ID の ID。たとえば、親ジョブのジョブ ID は、親ジョブとそのサブジョブの両方のルートジョブ ID です。
SCORE	Int	4	ジョブの予測スコア。たとえば、決定ノード内のスコアを使用して、プロセスの実行パスを決定します。
SELECTED_FOR_CHECKING	Bit		このジョブがチェック用に選択され、ユーザーによって検査されたかどうかを示します。 品質管理に使用されます。
SELECTED_FOR_SAMPLING	Bit		このジョブがサンプリング用に選択され、ユーザーによって検査されたかどうかを示します。 品質管理に使用されます。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
SLA_STATUS2_DATE	日時	8	RAG (赤/オレンジ/緑) ステータスを決定します。 現在の日時が SLA_STATUS2_DATE よりも小さい場合、RAG ステータスは緑になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラー設定をチェックして、デフォルトカラーの緑が上書きされているかどうかを確認します。 アクティビティの変更を参照してください。
SLA_STATUS3_DATE	日時	8	現在の日時が SLA_STATUS3_DATE よりも小さく、SLA_STATUS2_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスはオレンジになります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラー設定をチェックして、デフォルトカラーのオレンジが上書きされているかどうかを確認します。 現在の日時が SLA_STATUS3_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスは赤になります。アクティビティの変更を参照してください。
SLA_STATUS4_DATE	日時	8	終了日時が SLA_STATUS4_DATE より小さく、SLA_STATUS3_DATE より大きい場合、RAG ステータスは赤になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラー設定をチェックして、デフォルトカラーの赤が上書きされているかどうかを確認します。 アクティビティの変更を参照してください。
SLA_STATUS5_DATE	日時	8	終了日時が SLA_STATUS5_DATE より小さく、SLA_STATUS4_DATE より大きい場合、RAG ステータスは黒になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラー設定をチェックして、デフォルトカラーの黒が上書きされているかどうかを確認します。
SPEND_SO_FAR	数値	20	ジョブ実行のこの時点までに費やされた金額を指定します。アクティビティの変更を参照してください。
START_TIME	日時	8	SLA の計算が実行される時刻を示します。この値のデフォルトは CREATION_TIME です。
TYPE	Smallint	2	<ul style="list-style-type: none"> • 通常 = 0 • ケース = 1 • 関連ジョブ = 2 • サブジョブ = 3
VERSION	小数	8	このジョブの作成に使用されたプロセスのバージョン。
WORK_QUEUE_DEFINITION_ID	バイナリ	16	ジョブ プロセスの作業タイプの ID。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
ACTIVATION_TIME	日時	8	ジョブが再アクティブ化された時刻。
BUDGET	小数	18	ジョブに割り当てられた予算。
CHECKED_RESOURCE_ID	バイナリ	16	ジョブをチェックしたリソースの ID。
CUST_DATA	NVarchar	1000	顧客固有のデータ (使用する場合)。
EXCEPTION_CODE	NVarchar	1414	ジョブに対して発生した例外コード (該当する場合)。
RAISED_BY	Smallint	2	ジョブの作成方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常ジョブ、なし = 0 • サーバー例外 = 1 • プロセスの例外 = 2 • トリガー = 3 • アラート = 4 • ドキュメントセット = 5
HOLD_TIME	日時	8	ジョブがホールドされていた時間を示します。それ以外の場合は null です。
JOB_OWNER_ID	バイナリ	16	ジョブ所有者のリソース ID。リソースの詳細については、「 テーブル AW_RESOURCE 」を参照してください。
LANGUAGE	NVarchar	20	(複数サイト構成で) ジョブが作成された場所で使用されている言語を示します。サイトが 1 つしかない場合は null です。
OWNER_PROCESS_ID	バイナリ	16	このジョブを所有しているプロセスの ID。
REASON_FOR_HOLD	NVarchar	2000	ジョブがホールドされている理由が含まれます。
SKIN_ID	バイナリ	16	ジョブに使用されるプロセス スキンの ID (該当する場合)。
STATE	NChar	60	ジョブの状態。 ジョブは単一の状態のみを保持できます。ジョブの値は、空白になるか、基盤となるビジネス プロセスで定義された状態のリストから取得されます。
JOB_SOURCE	NVarchar	80	顧客が提供するカスタム値。通常は、プロセスの最初の手順で設定されます。例: <ul style="list-style-type: none"> • 電子メール • FAX • 電話

テーブルJOB_HISTORY

このテーブルには、完了済みの各アクティビティのレコードが含まれています。

	名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
🔑	JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
	ACTIVITY_TYPE	Int	4	LIVE_ACTIVITY テーブルの TYPE 列を参照してください。
🔑	SET_TIME	日時	8	アクティビティが完了、キャンセル、または一時停止された時刻。
🔑	SET_TIME_MILLISECS	Smallint	2	アクティビティが完了、キャンセル、または一時停止された時刻。これにはミリ秒数が含まれます。
🔑	EMBEDDED_PROCESS_COUNT	Smallint	2	アクティビティが存在するプロセス レベル。このパラメータが 0 の場合、プロセスは親プロセスです。
🔑	NODE_ID	Smallint	2	プロセス内のアクティビティの ID。
	COST	数値	20	アクティビティの実行コスト。
	DEPENDENCY_INCLUDE	Smallint	2	内部使用向け。
	EXPECTED_COST	小数	18	アクティビティの想定コスト。
	MACHINE_ID	Smallint	2	現在使用されていません。
	NODE_ID_AFTER_DECISION	Smallint	2	インストール先ノードの ID を示します。
	NODE_NAME	Nchar(40)	80	ビジネス プロセスで定義されているこのアクティビティの名前。
	OVERRUN	Bit		ジョブが超過したかどうかを示します。
	OVERRUN_EXCEPTION	Smallint	2	ジョブが超過した場合は、1 に設定されます。
	PERF_RES_INCLUDE	Bit		内部使用向け。
	PERFORMED	Smallint	2	アクティビティの実行方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 完了済み = 1 • 強制終了済み = 2 • 最終ノード完了 = 3
	PROCESS_ID	バイナリ	16	アクティビティを含むプロセスのプロセス ID。
	PROCESS_NAME	NVarchar	80	このアクティビティを含むプロセスの名前。(たとえば、アクティビティがサブジョブにあった場合のサブジョブプロセスの名前)。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
RESOURCE_ID	バイナリ	16	アクティビティを完了、キャンセル、または一時停止したユーザーのリソース ID。
TARGET_TIME_IN_SECONDS	Int	4	秒単位で保存されるアクティビティの目標期間。
TIME_PENDING_IN_SECS	Int	4	アクティビティが作業キューにあった期間 (秒)。
TIME_SPENT_IN_SECONDS	Int	4	アクティビティの実行にかかった実際の時間 (秒)。
USE_ADV_WORKFLOW_RULES	Smallint	2	アクティビティの割り当て中に詳細なワークフロールールを使用するかどうかを示します。
VERSION	小数	8	アクティビティを含むプロセスのバージョン。
WORKING_TIME_PENDING_IN_SECS	Int	4	現在使用されていません。
WORKING_TIME_SPENT_IN_SECONDS	Int	4	アクティビティの実行に費やされた期間。JOB_HISTORY テーブルの行がサブジョブを表す場合、これはサブジョブ内のすべてのアイテムの合計コストです。
DUE_DATE	日時	8	アクティビティの期限。
MONITORING_DUE_DATE	日時	8	ジョブの期限超過の例外を次にチェックする時間を指定します。
STARTED_SUBJOB_ID	バイナリ	16	このアクティビティに対して開始されたサブジョブの ID。
SUBJOB_ID	バイナリ	16	このアクティビティのサブジョブの ID。
OVERDUE	ビット (計算列)		これは計算列です。式: (case when [DUE_DATE] IS NULL then (0) when [DUE_DATE]>=[SET_TIME] then (0) when [DUE_DATE]<[SET_TIME] then (1) end)

テーブル JOB_MILESTONES

このテーブルには、ジョブ内の通過ポイントに関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
MILESTONE	NChar(40)	80	通過ポイント名。
LAST_UPDATED_DATE_TIME	日時	8	この通過ポイントが最後に更新された日時。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
ACTUAL_DATE_TIME	日時	8	通過ポイントが達成された日時。
TARGET_FINISH_TIME	日時	8	通過ポイントの目標時間。

テーブル JOB_STATE_HISTORY

このテーブルには、ジョブ内の状態に関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✶ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意の識別子。
✶ PERFORMED_TIME	日時	8	状態が達成された時刻。
RESOURCE_ID	バイナリ (16)	16	状態変更を引き起こしたユーザー。
✶ STATE	NVarchar	60	状態の名前。

テーブル FINISHED_JOB

アーカイブが有効で、対応するビジネス プロセス (履歴レコード用) の適切な設定がオンになっている場合、ジョブは完了するか強制終了するときこのテーブルに移動されます。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✶ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意の識別子。
ASSESSED_FOR_CHECKING	Bit		このジョブがチェック用に決定されたかどうかを示します。
ASSESSED_FOR_SAMPLING	Bit		このジョブが品質コントロール用にサンプリングされると決定されたかどうかを示します。
ASSOCIATED_CASE_ID	バイナリ (16)	16	このケース フラグメントが作成されたケースのジョブ ID。 通常のジョブの場合、これは独自のジョブ ID と同じです。 [タイプ] 列の説明を参照してください。
CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	このジョブの作成に使用されるプロセスが属するカテゴリ。
COST_OVERRUN	Bit		モニターがこのジョブにコスト超過のマークを付けたかどうかを示します。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
CREATION_TIME	日時	8	ジョブが作成された日時。
CREATOR	バイナリ (16)	16	ジョブを作成したユーザーのリソース ID。リソースの詳細については、「 テーブル AW_RESOURCE 」を参照してください。
DURATION_OVERRUN	Bit		モニターがこのジョブに期間超過のマークを付けたかどうかを示します。
RAISED_BY	Smallint	2	ジョブの作成方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常ジョブ、なし = 0 • サーバー例外 = 1 • プロセスの例外 = 2 • トリガー = 3 • アラート = 4 • ドキュメントセット = 5
EXPECTED_COST	小数	18	このジョブの想定コスト。
EXPECTED_DURATION_IN_SECS	Int	4	このジョブの想定期間 (秒)。
FINISH_TIME	日時	8	ジョブが強制終了または完了した時刻。
JOB_PERCENT	Smallint	2	ジョブ完了の進捗状況を表す割合。 パーセント値は、プロセスの状態ごとに定義されます。 ジョブの値は、完了時のジョブの状態に対して定義された値に対応します。
JOB_STATUS	Smallint	2	終了済みジョブのステータス: <ul style="list-style-type: none"> • 完了済み = 1 • 強制終了済み = 2
LAST_MODIFIED_DATE	日時	8	ジョブの詳細が最後に変更された日付。
MACHINE_ID	Smallint	2	現在使用されていません。
ORIGIN_SERVER_ID	バイナリ	16	ジョブの発信元または作成元のサーバーの ID。
ORIGIN_SERVER_NAME	NChar	80	ジョブが開始または作成されたサーバーの名前。
PRIORITY	Smallint	2	ジョブの優先度。
PROCESS_ID	バイナリ	16	このジョブの作成に使用されるビジネス プロセスの一意的識別子。
PROCESS_NAME	nvarchar	80	このジョブの作成に使用されたプロセスの名前、または作成されたスキンの名前。
RESOURCE_NAME	nvarchar	80	ジョブを作成したリソースの名前。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
ROOT_JOB_ID	バイナリ	16	ルートジョブ ID の ID。たとえば、親ジョブのジョブ ID は、親ジョブとそのサブジョブの両方のルートジョブ ID です。
SCORE	Int	4	ジョブの予測スコア。終了済みのジョブの場合、評価はジョブが再起動され、ライブジョブに移動しなおされた後のみ実行できます。
SELECTED_FOR_CHECKING	Bit		このジョブがチェック用に選択され、ユーザーによって検査されたかどうかを示します。品質管理に使用されます。
SELECTED_FOR_SAMPLING	Bit		このジョブがサンプリング用に選択され、ユーザーによって検査されたかどうかを示します。品質管理に使用されます。
SLA_STATUS2_DATE	日時	8	<p>ジョブが完了したときのジョブの RAG (赤/オレンジ/緑) ステータスを決定します。</p> <p>終了日時が SLA_STATUS2_DATE よりも小さい場合、RAG ステータスは緑になります。</p> <p>[システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトの緑が上書きされているかどうかを確認します。</p> <p>ジョブ SLA の日付のコピーを保持します。</p>
SLA_STATUS3_DATE	日時	8	<p>終了日時が SLA_STATUS3_DATE よりも小さく、SLA_STATUS2_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスはオレンジになります。</p> <p>[システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトのオレンジが上書きされているかどうかを確認します。</p> <p>終了日時が SLA_STATUS3_DATE よりも大きい場合、RAG ステータスは赤になります。</p>
SLA_STATUS4_DATE	日時	8	<p>終了日時が SLA_STATUS4_DATE より小さく、SLA_STATUS3_DATE より大きい場合、RAG ステータスは赤になります。[システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトの赤が上書きされているかどうかを確認します。</p> <p>ジョブ SLA の日付のコピーを保持します。</p>

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
SLA_STATUS5_DATE	日時	8	終了日時が SLA_STATUS5_DATE より小さく、SLA_STATUS4_DATE より大きい場合、RAG ステータスは黒になります。 [システム] > [システム設定] > [プロセス] タブで Designer のプロセス ノード カラーをチェックして、デフォルトの黒が上書きされているかどうかを確認します。 ジョブ SLA の日付のコピーを保持します。
START_TIME	日時	8	SLA の計算が実行される時刻を示します。デフォルト: CREATION_TIME
TYPE	Smallint	2	ジョブのタイプ。可能な値: <ul style="list-style-type: none"> • 通常 = 0 • ケース = 1 • 関連ジョブ = 2 • サブジョブ = 3
VERSION	小数	8	このジョブの作成に使用されたプロセスのバージョン。
WORKING_DURATION_DAYS	Int	4	ビジネス カレンダーで定義された稼働日におけるジョブの期間。
ACTIVATION_TIME	日時	8	ジョブが再アクティブ化された時刻。
BUDGET	小数	18	ジョブに割り当てられた予算。
CHECKED_RESOURCE_ID	バイナリ	16	ジョブをチェックしたリソースの ID。
CUST_DATA	NVarchar	1000	顧客固有のデータ (使用する場合)。
EXCEPTION_CODE	NVarchar	14	例外コード (ジョブに発生した場合)。
EXPECTED_FINISH_TIME	日時	8	このジョブの終了想定時刻。
HOLD_TIME	日時	8	ジョブがホールドされていた時間を示します。それ以外の場合は null です。サイトが 1 つしかない場合は null です。
JOB_OWNER_ID	バイナリ (16)	16	ジョブ所有者のリソース ID。リソースの詳細については、「 テーブル AW_RESOURCE 」を参照してください。
LANGUAGE	NVarchar	20	(複数サイト構成で) ジョブが作成された場所で使用されている言語を示します。
OWNER_NAME	NVarchar	80	ジョブを所有しているリソースの名前。
OWNER_PROCESS_ID	バイナリ	16	このジョブを所有しているプロセスの ID。
REASON_FOR_HOLD	NVarchar	2000	ジョブがホールドされている理由。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
SKIN_ID	バイナリ	16	プロセス スキンの ID (ジョブに使用される場合)。
SPEND	数値	20	ジョブを完了するために費やした金額。
STATE	NChar(30)	60	ジョブの状態。 ジョブは単一の状態を保持するか、基盤となるプロセスで定義された状態のリストから取得されます。
WORK_QUEUE_DEFINITION_ID	バイナリ	16	ジョブのプロセスに対して定義された作業タイプの ID。
JOB_SOURCE	NVarChar(40)	80	顧客が提供するカスタム値。 通常、この値はプロセスの最初の手順で設定されます。例: <ul style="list-style-type: none"> • 電子メール • FAX • 電話

テーブル FINISHED_JOB_HISTORY

このテーブルには、終了済みのジョブの完了済みアクティビティに関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✎ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意の識別子。
ACTIVITY_TYPE	Int	4	<ul style="list-style-type: none"> • キャプチャ アクティビティ タイプとそれに対応する値: 抽出 = 131085、分類 = 131086、PDF 生成 = 131088、スキャン = 131089、検証 = 131090、確認 = 131091、ドキュメント レビュー = 131092、イメージ処理 = 131093、複合 = 131094 • コア Kofax TotalAgility アクティビティとそれに対応する値: 手動 = 1、VB スクリプト = 32。新しいジョブの作成 = 128、.NET = 4096、Web サービス = 8192、XML = 131072、C# = 131074、VB Net = 131076、データ アクセス = 131077、同期 = 131079、スリープ = 131080、ジョブ所有者 = 131081、ジョブの変数 = 131082、リソース情報 = 131084
✎ EMBEDDED_PROCESS_COUNT	Smallint	2	アクティビティが存在するプロセス レベル。このパラメータが 0 の場合、プロセスは親プロセスです。
✎ NODE_ID	Smallint	2	プロセス内のアクティビティの ID。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
☛	SET_TIME	日時	8	アクティビティが完了した時刻。
☛	SET_TIME_MILLIS ECS	Smallint	2	アクティビティが完了した時刻を表すミリ秒数が含まれます。
	COST	数値	20	完了済みアクティビティの実際のコスト。
	EXPECTED_COST	小数	18	アクティビティの想定コスト。
	MACHINE_ID	Smallint	2	現在使用されていません。
	NODE_ID_AFT ER_DECISION	Smallint		決定後のアクティビティの ID。
	NODE_NAME	NChar(40)	80	このアクティビティの名前 (ビジネス プロセスで定義されたとおり)。
	OVERRUN	Bit		ジョブが超過しているかどうかを示します。
	OVERRUN_EXCEPT ION	Smallint	2	超過の例外がある場合は 1 に設定します。
	PERFORMED	Smallint	2	アクティビティの実行方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 完了済み = 1 • 強制終了済み = 2 • 最終ノード完了 = 3
	PROCESS_ID	バイナリ (16)	16	アクティビティを含むプロセスのプロセス ID。
	PROCESS_NAME	NVarchar(40)	80	このアクティビティを含むプロセスの名前 (たとえば、アクティビティがサブジョブにあった場合、サブジョブの名前)。
	RESOURCE_ID	バイナリ (16)	16	アクティビティを完了したユーザーの ID。
	RESOURCE_NAME	NChar	80	アクティビティを完了したリソースの名前。
	MACHINE_NAME	NChar	80	アクティビティが完了したマシンの名前。
	TARGET_TIM E_IN_SECONDS	Int	4	アクティビティの目標期間。
	TIME_PENDIN G_IN_SECS	Int	4	アクティビティが作業キューにあった期間 (秒)。
	TIME_SPE NT_IN_SECONDS	Int	4	アクティビティの実行にかかった実際の時間 (秒)。
	VERSION	小数	8	アクティビティを含むプロセスのバージョン。
	WORKING_TIM E_PENDING_IN_SEC ONDS	Int	4	現在使用されていません。
	WORKING_TIM E_SPENT_IN_SEC ONDS	Int	4	アクティビティの実行に費やした時間 (秒)。JOB_HISTORY テーブルの行がサブジョブを表す場合、これはサブジョブ内のすべてのアイテムの合計コストです。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
DUE_DATE	日時	8	アクティビティの期限となった日時。
FORM	XML	2 GB	該当する場合、アクティビティに関連付けられたフォームが含まれます。
MONITORING_DUE_DATE	日時	8	活性状態データベースで、次にジョブの期限超過の例外をチェックする時間を示します。データベースには、期限超過の例外が検出された間隔が含まれます。
STARTED_SUB_JOB_ID	バイナリ (16)	16	このアクティビティに対して開始されたサブジョブの ID。
SUB_JOB_ID	バイナリ (16)	16	このアクティビティのサブジョブの ID。
OVERDUE	ビット (計算列)		これは、次の式を使用する計算列です。 (case when [DUE_DATE] IS NULL then (0) when [DUE_DATE]>=[SET_TIME] then (0) when [DUE_DATE]<[SET_TIME] then (1) end)

テーブル FINISHED_JOB_MILESTONES

このテーブルには、終了済みジョブの通過ポイントに関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
☛ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
☛ MILESTONE	NChar(40)	80	通過ポイント名。
LAST_UPDATED_DATE_TIME	日時	8	通過ポイント情報が最後に更新された日時。
ACTUAL_DATE_TIME	日時	8	通過ポイントが達成された日時。
TARGET_FINISH_TIME	日時	8	通過ポイントの目標時間。

テーブル FINISHED_JOB_STATE_HISTORY

このテーブルには、終了済みジョブの状態に関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
☛ JOB_ID	バイナリ (16)	16	ジョブの一意的識別子。
☛ PERFORMED_TIME	日時	8	状態が達成された時刻。

	名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
	RESOURCE_ID	バイナリ(16)	16	状態の移行を引き起こしたユーザーの ID。
	RESOURCE_NAME	NVarchar(40)	80	状態の移行を引き起こしたユーザーの名前。
✎	STATE	NVarchar(30)	60	状態の名前。

テーブル FINISHED_JOB_META_DATA

このテーブルには、終了済みジョブのメタデータに関する情報が含まれています。

	名前	データタイプ	最大長(バイト)	説明
✎	JOB_ID	バイナリ(16)	16	作業タイプ フィールドのランタイム値が関連付けられているジョブの ID。
	DEFINITION_NAME	NVarchar(40)	80	指定されたジョブに使用される作業タイプの名前。
	UPDATE_ID	バイナリ(16)	16	<ul style="list-style-type: none"> 作業タイプ フィールドの範囲が 0 (プロセス/ケース フラグメント範囲) の場合、ケース フラグメント ジョブ ID が含まれます。 作業タイプ フィールドの範囲が 1 (ケース範囲) の場合、ケース ジョブ ID が含まれます。 ケースが使用されない場合は、ジョブ ID が含まれません。
	FIELD1VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 1 です。
	FIELD2VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 2 です。
	FIELD3VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 3 です。
	FIELD4VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 4 です。

名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD5VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 5 です。
FIELD6VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 6 です。
FIELD7VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 7 です。
FIELD8VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 8 です。
FIELD9VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 9 です。
FIELD10VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 10 です。
FIELD11VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 11 です。
FIELD12VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 12 です。
FIELD13VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 13 です。
FIELD14VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 14 です。

名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD15VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 15 です。
FIELD16VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 16 です。
FIELD17VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 17 です。
FIELD18VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 18 です。
FIELD19VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 19 です。
FIELD20VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 20 です。
FIELD21VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 21 です。
FIELD22VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 22 です。
FIELD23VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 23 です。
FIELD24VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 24 です。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD25VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 25 です。
FIELD26VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 26 です。
FIELD27VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 27 です。
FIELD28VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 28 です。
FIELD29VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 29 です。
FIELD30VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。フィールドに対する WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 30 です。

テーブル Work_QUEUE_DEFINITION

このテーブルには、ジョブの作業タイプに関する情報が含まれています。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
 DEFINITION_ID	バイナリ (16)	16	作業タイプの一意的識別子。
CATEGORY_ID	バイナリ (16)	16	作業タイプが属するカテゴリの ID。
CHANGE_DATE	日時	8	作業タイプが変更された最後の日時。
DEFINITION_NAME	NVarchar(40)	80	作業タイプの名前。
META_DATA	NVarchar(255)	510	内部目的のため。 作業タイプに対する補足情報を保存しているメタデータ。

テーブル Work_QUEUE_DEFINITION_FIELD

このテーブルには、ジョブの作業タイプ フィールドに関する情報が含まれています。

	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
🔑	DEFINITION_ID	バイナリ (16)	16	作業タイプの一意の識別子。
🔑	FIELD_POSITION	Smallint	2	<p>1 から始まる番号は、作業タイプ内のフィールドの位置を示します。</p> <p>たとえば、フィールド位置 1 は、実行時のフィールドの値が、正しい DEFINITION_ID 値および関連する JOB_ID の LIVE_WORKQUEUE_DEFINITION テーブル行の FIELD1VALUE 列に含まれていることを示します。</p> <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> <p>i 作業タイプには、最大 30 個のフィールドを含めることができます。</p> </div>
	FIELD_NAME	NVarchar(30)	60	作業タイプ フィールドの名前。
	FIELD_SCOPE	Bit		<p>値 0 は、フィールド変数に単一の値のケース定義および関連付けられているフラグメントが含まれていることを示します。</p> <p>値 1 は、ケース定義に関連付けられたケース フラグメントに、独自の異なる変数値が設定されているフィールドを示します。</p>
	FIELD_TYPE	Smallint	2	<p>フィールドのデータ タイプとそれに対応する値:</p> <p>システム = 1、Short = 2、Long = 3、Float = 4、Double = 5、通貨 = 6、日付 = 7、ストリング = 8、ディスパッチ = 9、ブール = 11、バイト = 17、小数 = 14、バリエーション = 12、配列 = 2000、複合 = 8204、XML = 32767、XmlExpression = 32766、テキスト = 32765、チェックリスト = 32764、null 許容日付 = 32763、null 許容文字列 = 32762、エンティティ = 32761、ドキュメント = 32760、フォルダ = 32759</p>
	FIELD_DEFAULT_VALUE	NVarchar(100)	200	TotalAgility Designer で定義できるフィールドのデフォルト値が含まれています。
	FIELD_DISPLAY_NAME	NVarchar(50)	100	フィールドのわかりやすい表示名。

テーブル LIVE_Work_QUEUE_DEFINITION

このテーブルには、ライブ ジョブの作業タイプに関する情報が含まれています。

	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
✶	JOBID	バイナリ (16)	16	作業タイプ フィールドのランタイム値が関連付けられているジョブの ID。
	DEFINITION_ID	バイナリ (16)	16	指定されたジョブに使用される作業タイプの一意的識別子。
	DEFINITION_NAME	NVarchar(40)	80	指定されたジョブに使用される作業タイプの名前。
	UPDATE_ID	バイナリ (16)	16	<ul style="list-style-type: none"> 作業タイプ フィールドの範囲が 0 (プロセス/ケースフラグメント範囲) の場合、ケースフラグメントジョブ ID が含まれます。 作業タイプ フィールドの範囲が 1 (ケース範囲) の場合、ケースジョブ ID が含まれます。
	FIELD1VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 1 です。
	FIELD2VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 2 です。
	FIELD3VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 3 です。
	FIELD4VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 4 です。
	FIELD5VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 5 です。
	FIELD6VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 6 です。
	FIELD7VALUE	NVarchar(100)	200	WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値が 7 であり、指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプ フィールドのランタイム値。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD8VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 8 です。
FIELD9VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 9 です。
FIELD10VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 10 です。
FIELD11VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 11 です。
FIELD12VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 12 です。
FIELD13VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 13 です。
FIELD14VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 14 です。
FIELD15VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 15 です。
FIELD16VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 16 です。
FIELD17VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 17 です。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD18VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 18 です。
FIELD19VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 19 です。
FIELD20VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 20 です。
FIELD21VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 21 です。
FIELD22VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 22 です。
FIELD23VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 23 です。
FIELD24VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 24 です。
FIELD25VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 25 です。
FIELD26VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 26 です。
FIELD27VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルの FIELD_POSITION 列の値は 27 です。

名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
FIELD28VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 28 です。
FIELD29VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 29 です。
FIELD30VALUE	NVarchar(100)	200	指定されたジョブの、指定された作業タイプの作業タイプフィールドのランタイム値。WORK_QUEUE_DEFINITION_FIELD テーブルのFIELD_POSITION 列の値は 30 です。

第2章

データベーススキーマ図

次のスキーマ図は、Kofax Analytics for TotalAgility で使用される Kofax TotalAgility テーブルを表しています。

